

卒業お祝いメニュー

むぎごはん ビーフカレー

ザワークラウト風サラダ

おいおいいちごクレープ

ほぼ日刊

夢の華

cカラット

第831号

神町中学校 夢色通信社

令和3年3月12日

東日本大震災 追悼式



今から10年前の2011年3月11日午後2時46分、マグニチュード9.0の「東日本大震災」が発生しました。この震災で、約2万人の死者・行方不明者が発生し、多くの尊い命が奪われました。震災で亡くなった多くの方々に哀悼（あいとう）の意を表すために、「東日本大震災追悼式」が行われ、2時46分には神町中学校全員で、黙祷（もくとう）を捧げました。その後、2年生の小関健矢さんと高橋利緒さんが作文を朗読しました。

私たちは直接感じることはありませんでしたが、被災者の方は津波を直接体験し恐怖を感じたと思います。被災した人の話を聞くと、私たちはたくさんの人に支えられて生きていることが分かりました。強い地震が起きるたびに、東日本大震災を思い出す人は多いと思います。被災した人がどれほど悲しみ、苦勞し、後悔したかは計り知れません。震災の恐ろしさを知らない世代に、東日本大震災を語り継いでいくことが大切だと思いました。（3年 瀬戸瑛次）

私が東日本大震災にあったのは、まだ幼稚園の時でした。幼稚園から帰ってきてから数分後、机の下で泣くことしかできなかったことを今でも覚えています。3月11日、この日は私の父の誕生日でもありました。その日の朝からケーキは何にしようか、プレゼントは何がいいかと考えていました。しかし、その楽しい未来は地震で一瞬にして変わってしまいました。どうしても父のお祝いをしたかった私は、お願いしてケーキを買いに行きました。真っ暗なお菓子屋さんでケーキを買い、暗闇の中でケーキのろうそくを灯し父のお祝いをしました。本当は楽しくなるはずだった父の誕生日。本当はおいしいはずのケーキ。全てを地震によって奪われた3月11日。10年経った今も、1ミリたりとも忘れたことはありません。（3年 鈴木菜々映）

この3月11日は、自分にとってうれしくも悲しい日です。この日は僕の誕生日で、当時の僕はまだ小さくて、物事があまりよくわからない年齢でした。しかし、10年前のあの大きな揺れだけはなぜか覚えています。祖父母の家にいた時に物がどんどん落ちてきて、夜になると電気もつきませんでした。ろうそくをつけて、なんとか生活していたのを覚えています。2万人もの人々が亡くなったこの日を、一生忘れることはないでしょう。作文にもありましたが、後の世代にこのことを伝えなければなりません。もう、このような悲しいことがないようにと祈りながら、日々を過ごしていきたいと思います。（2年 原谷祐希）

今日、東日本大震災10年目を迎えました。私はその時まだ2才か3才ぐらいでした。何も覚えていませんが、お母さんが必死に守ってくれたことだけは覚えています。どれだけ大変でも、がんばって私たちのことを守ってくれていたお母さん、お父さんに感謝しかありません。今日の集会を通して、この日を決して忘れてはならないと感じました。（1年 橋谷田未知）